

吉田外司夫追悼集
 ともに歩んで—吉田外司夫と青いケシ研究会
 目 次

(巻頭カラーページ)

青いケシ研究会調査旅行	2
青いケシ研究会の活動	4
新分類群として発表された青いケシ	6
コメントの解説用写真	14
はじめに	1
目 次	3

第 1 部 青いケシ研究会の活動

青いケシ研究会について	6
第 1 回青いケシ研究会	8
第 2 回青いケシ研究会	9
第 3 回青いケシ研究会	12
第 4 回青いケシ研究会	17
第 5 回青いケシ研究会	21
第 6 回青いケシ研究会	24
第 7 回青いケシ研究会	27
第 8 回青いケシ研究会	31
第 9 回青いケシ研究会	37
第 10 回青いケシ研究会	39
第 11 回青いケシ研究会	42
第 12 回青いケシ研究会	46
第 13 回青いケシ研究会	51
第 14 回青いケシ研究会	54
第 15 回青いケシ研究会	57
第 16 回青いケシ研究会	60
第 17 回青いケシ研究会	61
第 18 回青いケシ研究会	66
第 19 回青いケシ研究会	69
第 20 回青いケシ研究会	72
第 21 回青いケシ研究会	75
第 22 回青いケシ研究会	77
第 23 回青いケシ研究会	81
第 24 回青いケシ研究会	84
第 25 回青いケシ研究会	87
第 26 回青いケシ研究会	89
第 27 回青いケシ研究会	91

[表紙写真]

- 上左：バランゲンシス *Meconopsis balangensis* Tosh. Yoshida, H. Sun & Boufford var. *balangensis*, 松永秀和撮影
 上右：プルプレア *Meconopsis purpurea* Tosh. Yoshida & H. Sun, 吉田外司夫撮影
 中左：ガキディアナ *Meconopsis gakyidiana* Tosh. Yoshida, Yangzom & D. G. Long, 松永秀和撮影
 中右：プルケラの変種メラナンテラ *Meconopsis pulchella* Tosh. Yoshida, H. Sun & Boufford var. *melananther*
 Tosh. Yoshida, 劉渝宏撮影
 下左：ウェンダエンシス *Meconopsis wengdaensis* Tosh. Yoshida & H. Sun, 吉田外司夫撮影
 下右：プータニカ *Meconopsis bhutanica* Tosh. Yoshida & Grey-Wilson, 松永秀和撮影

第 28 回青いケン研究会	94
第 29 回青いケン研究会	96
第 30 回青いケン研究会	98
青いケン研究会調査旅行の全記録	100
吉田外司夫による新分類群の発表	102
青いケシの写真展	105

第2部 追悼文集

青いケシの会と吉田外司夫先生のこと 青池民雄	108
脳裡に焼き付いている笑顔 岩崎静江	108
吉田外司夫先生との思い出 内野文子	109
2人の師 梅沢俊	109
吉田外司夫先生に教えを乞うたことは私の一生の宝物 大内京子	110
青いケシとの出会い 狩俣キミ江	111
吉田外司夫先生 有難うございました 安らかにお休みください 川内浩司	111
感謝を込めて 吉田先生の思い出 川田ひろ子	112
永遠の少年だった吉田外司夫先生 小泉初恵	113
花のシッキム、カリンポンの思い出 河野幹司	114
吉田外司夫先生を偲んで 柴田順子	115
吉田外司夫先生を偲んで 杉本利夫	116
青いケシに魅せられた思い出 須田靖子	116
大変お世話になった『ヒマラヤ植物大図鑑』 竹花 晃	117
あの栗色の“青いケン”新種じゃないの? 千葉盈子	118
吉田外司夫さん、ありがとうございました! 坪井勇人	120
花の見方をたくさん教えていただきました 中村由美子	120
吉田外司夫先生の思い出 野田 恵	121
青い色に魅せられて 松澤かほる	121
求天上的花 天上の花を求めて～向亡吉田外司夫先生献上一首詩～ 松永秀和 ...	123
「とにかく水を飲んだら大丈夫」 松本聡子	123
ヘンリキを見つけた時の少年のような笑顔 水谷園子	124
『ヒマラヤ植物大図鑑』との出会い 南 基泰	124
調査旅行の思い出 宮原 裕	125
運命的出会い 山下順子	126
外司夫さんについて初めて知ることばかり 吉田忠正	128
チベット南東部へ シェリフィーの探索 劉渝宏	129

資料編

吉田外司夫著作一覧	134
吉田外司夫海外取材記録	137
吉田外司夫略年譜	140
おわりに	141

第1部 青いケン研究会の活動

第1回青いケシ研究会

2012年5月18日(金)、西新橋のアルパインツアー会議室にて、42名参加。

予定の9時30分より早めに、向山愛子・内野文子・柴田順子さんにより受付が開始された。後方テーブル上に本日報告予定の青いケシのプリントや書籍が展示され、正面向かって右側ロッカー上に白馬五竜高山植物園の坪井勇人さんと横山園芸の横山直樹さんが持ってきてくれた青いケシの重要な園芸種であるメコノプシス・シェルドニーの鉢植えが飾られ、左側テーブル上と正面の黒板前には札幌在住植物画家の須田靖子さんが持ってきてくれた自作の30メートル巻紙に描かれた植物スケッチ画や額縁に入ったメコノプシス・ブータニカ(未発表新種)の大きい絵が飾られる。坪井さんの鉢植えは一番花が開き始めたところ、横山さんの鉢植えは大きく生長して最後の花(青いケシとしては異常な3弁花)が平開。

1. 青いケシ研究会について(吉田外司夫)
2. ブータンのチュメ・ラおよびチョモラーリのトレッキング(山下順子)
3. 参加者の自己紹介
4. ブータンのガンケルプンズムへのトレッキング(山下順子)
5. 報告者へのコメント

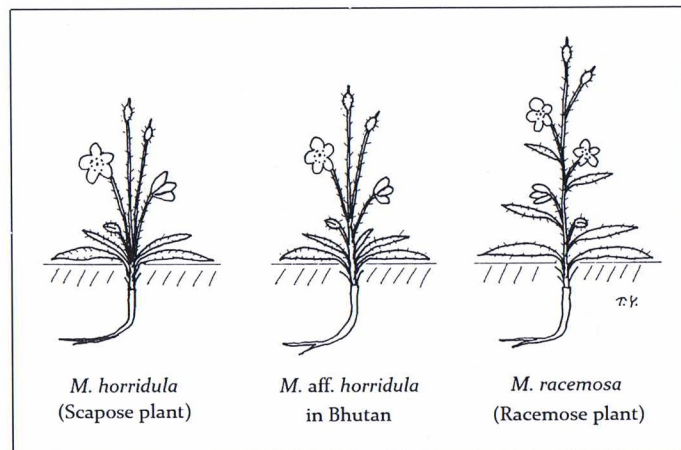
第1回青いケシ研究会でのコメント要旨

山下順子さんのブータンでの3つの報告

山下さんのブータンでの3つの報告は、いずれも一般のトレッキング・コースから大きく外れた探検的なものだったので、今までよく知られていなかった青いケシの視覚的な情報を多くもたらしました。今後、このグループの分類を見直すとき、これらの写真は貴重な資料になると思われれます。

最初のチュメ・ラ報告では、メコノプシス・ラケモサがこのあたりにとくに個体数が多いことがわかりました。チュメ・ラは南北に走る細長い山地にあり、北から進出してきたラケモサがこの地の特殊な環境に取り残されて生き延びたと想像されます。山地の頂部は東にゆるく傾いたテーブル状になっているので、テーチス海(古地中海)の海底に堆積した地層が隆起してできたものと想像され、その特殊な地層が新しい植物の進入を阻んだとも想像されます。

二つ目のチョモラーリ報告では、この6月中にイギリスの専門誌で新種として発表される予定のメコノプシス・ブータニカが美しく写真に撮られていました。この種については、後の研究会で詳しく説明します。ブータニカが群生するツォーフ湖の斜面には、メコノプシス・ホリドゥラといわれている種類も多く見られ、その多様な形が撮影されました。ブータンでホリドゥラといわれている種類は、花茎の基部が合着する点で、



ホリドゥラとラケモサの相違点 地際から伸びた葉のない花茎の先に一個ずつ花をつけるホリドゥラ(左)、総状花序に花をつけるケモサ(右)、その中間形であるブータンの「ホリドゥラ」(中央)

本物のホリドゥラ(基準地はシッキム)とは異なります。

三つ目のガンケルプンズム報告では、過去にほとんど撮影されたことがなく、その実態がよく知られていなかったメコノプシス・シヌアタのさまざまな形が写真に撮られていて、その多様な形態や生態、生育環境などを新たに知ることができました。放牧家畜による食害の痕跡も見られました。

シヌアタの分類の歴史および近縁とされる他種との比較研究

メコノプシス・シヌアタ *Meconopsis sinuata* Prain

分布: ネパール中・東部、シッキム、ブータン中部、チベット南東部

- ・1896年にD. Prainがシッキム産の標本に基づき新種として発表。
- ・1901年にPrainは、Prattが四川省康定で採集したものをこの種の変種として*M. sinuata* var. *prattii*の名前で発表、後に種のランクに引き上げて*M. prattii*とした。
- ・*M. latifolia*も当初はPrainによって*M. sinuata* var. *latifolia*とされ、後に種のランクに引き上げられた。
- ・1934年にG. Taylorは『メコノプシス属』の中で*M. sinuata*が*M. aculeata*や*M. latifolia*に近縁であると位置づけた。
- ・ちなみにTaylorは*M. prattii*を、*M. racemosa*や*M. rudis*とともに*M. horridula*に含めている。
- ・大場秀章氏は『ヒマラヤの青いケシ』の中で、*M. sinuata*は*M. horridula*に近いのではないかとした。
- ・*M. sinuata*はこれらの種とはまったく別物!!
- ・むしろ*M. polygonoides*や*M. forrestii*、*M. castanea*に近いのではないか。

青いケシ研究会ニュースレター No. 1

第1回青いケシ研究会には、予想をはるかに越えた大勢の皆さまの御参加を頂き、ありがとうございました。皆様は、同好の志と共に、会の大きな目的の1つである楽しい研究をすることができましたでしょうか?

遠方からいらした方、貴重なおみやげを持ってきて展示して下さった方、受付のボランティアをして下さった方など、御協力を感謝致します。

初回のこととはいえ、時間が足りなくなったために最後の大事な勉強が短くなり、また、持ち寄り写真の同定ができませんでした。次回には、この反省を生かしてより良い会にしたいと思いますので、どうぞ御期待ください。

第2回青いケシ研究会

2012年9月25日(火)、新橋の生涯学習センター「ばるーん」305号室にて、49名参加。

1. メコノプシス・シヌアタの比較研究と標本の見方(第1回の追加説明)
2. 四川省南西部・ルオジーシャンの不思議な青いケシ(千葉盈子)
3. 今夏の花情報
4. 四川省南西部・ヤレ自然保護区の青いケシの新種2種とウィルソニーの百年ぶり再発見(吉田外司夫)